

## (二) 検問所ノ設置

九月五日東京市内外樞要ノ地四十二箇所横浜市方面二十八箇所ノ検問所ヲ設置シテ不審者ノ誰何ヲ厉行スルト共ニ携帶品ノ檢索ヲ行ヒ危險物件ヲ所持スル者アルトキハ之ヲ領置スル等軍隊警察快クシテ不逞ノ徒ノ混雜ニ乗スルノ窺ヲカラシメタルガ其成績良好ナルモノアルニ鑑ミ檢問所ノ数ヲ戒ルヘク多数ニ設置スルノ方針ヲ採リ巡查派出所駐在所ヲ復活シテ第三次檢問所ニ當テ警察官ニ依ル檢問ヲ實行シ必要ノ場合軍隊ノ援助ヲ仰クコト、シ又警察官及軍隊ノ警邏巡察ヲ充分ニシテ以テ自警團ニ代ラシムルノ方針ヲ採レリ

## (三) 上京者ノ制限

東京及横浜方面ニ於ケル震災ノ報各地ニ傳ハルヤ親戚故舊、  
 安否ヲ気遣ヒ鉄路其他ニ依リ震災地ニ救到シ為ニ罹災  
 地ノ雑匠ヲ増シ却テ救護事業ノ進捗ヲ阻害スルノ虞アリ  
 殊ニ東京横浜等ニ於テハ罹災民ヲ收容スヘキ宿屋~~宿~~ハナク  
 又當初ニ於テハ食糧ノ供給モ不足ヲ感シツ、アルノ情態ナリシ  
 ラ以テ逸早く罹災地ニ来ラントスル者ノ取締方ニ関シ関係  
 官廳ト協議ヲ遂ケ當分ノ間公務ヲ帯ブル者震災地ニ家  
 族ヲ有スル者其他特別ノ事由アル者ヲ除クノ外一般人ノ上  
 京入込ヲ阻止スルノ方法ヲ講シタルカ當時主要鉄道停  
 車場ハ避難民及其慰問團其他ノ為混雑ヲ極メ取締  
 頗ル困難ニシテ充分ナル効果ヲ見ル能ハリシモ屢次地方長官  
 ヲ督励シテ其取締ノ徹底ヲ期セリ。

朝鮮人一般外國人ニ對シテモ、震災地混雜ノ情況並ニ内地人ノ上京ニ對シテモ極端ナル制限ヲ為シツ、アルノ事情ヲ說示シテ特別ノ事情存スル場合ヲ除クノ外其ノ震災地ニ來ルヲ阻止スルノ方法ヲ執レリ、

#### 四、自警團ノ取締

震災後火災ヲ免レル地域ニ於テハ當日ヨリ消防組員在郷軍人青年團員等出勤シ火災盜難ノ豫防ニ任シタルカニ日來朝鮮人ニ因ル流言ノ滋漫スルト共ニ各戸ヨリ半強制的ニ男子ヲ狩リ出シ自警團ヲ組織スルニ至リ流言ノ行ハル、範圍ノ擴大スルニ伴ヒ自警團組織ノ範圍ニ近縣一帯ニ及フニ至レリ而シテ民衆自

警團各々自警ノ任ニ當ルハ毫毛不都合ナシト雖モ  
 中ニ兵器兇器ヲ帶用シ法規ヲ無視シ行動矯激  
 ニ且リ却テ秩序ヲ紊亂スル者アルニ至リ殊ニ流言ニ  
 誑惑セラレタル自警團員中ニ激昂ノ極殺傷其  
 他ノ暴舉ニ出ツルモノアリシヲ以テ戒嚴司令部警  
 察當向相互ニ核定シテ自警團ハ警察又ハ軍隊ノ  
 監督ノ下ニ適當ナル任務ニ就カシムルコトシ團員ハ勿  
 論一般民衆ノ兇器携帶ヲ禁止シ之ヲ帶有スル者ニ對  
 シテハ穩便ニ論シテ之ヲ中止セシメ或ハ之ヲ押收シテ一定  
 ノ場所ニ依領置スルコト自警團ノ行動ハ之ヲ自家附  
 近ノ火災盜難ノ警防等ニ限り通行人ノ推問抑止其  
 他権力的行動一切之ヲ禁止スルコトシ其取締ヲ實

行ミタルカ更ニ八日ノ核議會ニ於テ自警組合組織ニ  
 関スル綱領ヲ核議決定シ一般ニ之ヲ周知セシムルト共ニ  
 之ニ基キ其取締ヲ為スコトナレリ

(五) 人心安定ニ對スル措置

通信交通ノ杜絶、新聞發行ノ中絶ハ衆災ノ程度真相  
 ヲ一般ニ周知セシムル能ハス加フルニ諸種ノ流言行ハレ衆災  
 ニ脅威セラレタル罹災地民心ヲ弥カ上ニ不安ニ陥レタルノ  
 ミナニス地方ニ於テモ其程度判明セサル為メ民心ノ動搖  
 ヲ来セリ故ニ人心安定ニ對スルモノ方策ハ衆災ノ情況  
 ヲ調査シ一面衣食其他物資ノ供給頗ル豊富トナリ何等  
 憂慮ノ要ナキ旨一般ニ周知セシムルニ在リ而モ當時情

報ノ蒐集ハ頗ル困難ナルモアリシニ拘ラス前述ノ如ク  
 萬難ヲ排シテ之カ蒐集ノ方法ヲ講シ其得タルモノハ直ニ  
 情報部ニ送りテ二日以降之ヲ公報トシテ毎日數回發  
 表スル外揭示ビラ、メガホン等ニヨリ不安ノ除去セ  
 ラレタル事實ヲ宣傳シ罹災人心ノ穩和ニ資セリ

其他各地方長官ニ對シテハ九月四日

西陛下攝政官殿下、御安泰並震災地ノ狀況ヲ電報  
 シタルヲ始メトシ 西陛下、御安否、罹災地ノ救護狀況  
 ヲ時々電報ニ新聞紙其他ノ方法ニ依リ一般ニ宣傳スル  
 ノ方法ヲ講セシメテ最早震災地ノ狀態ノ憂慮スヘキ  
 ニ非ルコトヲ知悉セシメ以テ地方民ヲシテ其堵ニ安ニゼシ  
 ムルノ方法ヲ探レリ。

殊ニ朝鮮人ニ関スル流言遊離民ヨリ誇大ニ各地ニ傳ヘラレ邦人ノ鮮人ニ對スル反感ヲ誘致シ汎ク全國ニ亘リ人バテ動搖セシメタルノ別項(朝鮮人ニ関スル項参照)ノ如ク其ノ多クハ流言浮説ニ過キカルコトヲ明ニスルト共ニ其傳播防止ニ努メシメ以テ人バノ安定ヲ圖シテリ

### (六) 通信ノ取締

戒嚴地域内ニ發着スル郵便電信ニ関シテハ九月四日關東戒嚴司令官ノ命令ニ基キ關係郵便局長並ニ電信局長ハ時勢ニ妨害アリト認ルル郵便電信ヲ閉緘スルコトヲ得ルコトナリ軍憲並警察官憲ト連絡シテ之ヲ取締ヲ履行シタルヲ震火後間モナク朝鮮人ニ関スル流言游漫

シ人ハヨ惑乱スルコト甚カラス其他震災地ニ於ケル治安  
 維持ノ必要上六日戒嚴令施行地域ニ及看スル私報内  
 地植民地間ニ及看スル私報並外國私報ニ當分ノ内  
 暗號ノ使用ヲ禁止シ又東京灣内及其灣外百海里内  
 ニ在ル船舶ノ私設無線電信ノ使用ヲ制限スル号衆  
 災後ニ於ケル治安維持上必要ナル通信取締ニ關シテハ  
 通信當向ト連絡ヲ保持シ萬邊算ナキヲ期セリ  
 其後人心安定ニ罹災地ノ秩序漸次回復シタルヲ以テ  
 暗號電報ハ必要ト認ムルトキハ發信人ニ對シ其説明ヲ  
 求メ又ハ暗號書ノ提示ヲ要求スルコトヲ條件トシテ十  
 月一日ヨリ其使用ヲ解禁セリ



### 四 出版物ノ取締

東京及横浜ニ於テハ火災ノ為新聞社殆ト全滅シ僅カニ  
 災害ヲ免レル東京日日、報知、及都ノ三新聞社モ震災  
 後電力ノ供給杜絶其他ノ為新聞紙ヲ發行スルニ至ラス  
 地方新聞亦交通機関破壊ノ多ク輸送不能ニシテ恰モ  
 人々ハ光明ヲ失ヒタルモノ、如ク震災ノ程度救護ノ状況等  
 不明ノ為人心不安ノ極ニ在リシ折カラナルヲ以テ其際不  
 穩ノ文書其他人心ヲ惑乱スル虞アル印刷物等ヲ配布  
 スルヲ如キコトアルニ於テハ重大ナル事態ヲ惹起スルコトナキ  
 ヲ保シ難シ

故ニ出版物ノ取締殊ニ残存印刷所ノ監視ハ極メテ緊  
 要事ナリシヲ以テ東京府下ニ於ケル残存印刷所ニ付テハ

特ニ注意ヲ加ヘシメタリ

新聞紙ノ記事ニ付テモ亦深ク注意シタルトコロナリ其ノ著シク  
 人ハテ惑乱スル處アル記事アルモノニ付テハ機宜ノ措置  
 ヲ執リ或ハ削除、更改ヲ命シ又ハ震災地ヘ、移入ヲ禁  
 止スルノ方法ヲ採レリ正確ナル事實ノ報道カ人ハノ安定  
 上ニ著シキ效果アルノ及面ニ於テ其ノ誇大又ハ無根等ノ  
 記事カ甚シク人ハノ不安ナラシメタル事實アルヲ掩フ可ラス  
 特ニ今回ノ如キ非常ノ事變ニ際シ公安ヲ害スルノ虞アル  
 記事ニ対シテ断乎タル知置ヲ採リタルハ已ムヲ得サルトコロニ属ス  
 多クノ存カナル新聞紙カ當尙苦衷ノ存スルトコロヲ察シテ  
 之ト核調ヲ保チテ公安維持ノ為ニ努メラレタルトコロ少カラサルハ  
 深ク感謝スルトコロナリ

## (1) 朝鮮人問題

朝鮮人ニ関スル流言各所ニ行ハレ未曾有ノ災害、即奮セル市民ノ感情ヲ彌カエモ刺戟シテ遂ニ暴行殺傷ノ事件ヲ生シタルハ震災ニ伴フテ起リタル一ノ不祥事件ナリ其流言ノ出所ハ今尚明瞭ナラサルモ東京方面ノ情况ハ二日午後神奈川地方ヨリ傳播シ來リタルモノ、如シ不幸ニシテ朝鮮人中少數ノ不逞者アリテ災害ニ乘テ犯行ヲ敢テシタルモノアリ之ヲ目撃シ又ハ傳聞シタルモノハ憤激ニテ之ヲ街頭ニ高鳴シ嵐、如ク震害地方ニ傳播セラレ風評ヲ産ミ流言ヲ生シ益々波紋大ニシテ近縣ニ及ヒタルモノノ如シ

當時通行機關ノ破壊、新聞紙ノ休刊等ノ爲真相

一般ニ傳ハレタリト通信杜絶ノ爲メ各機關ノ連絡敏  
 活ヲ歛キレトハ之カ防止ニ少カラサルモ又障ヲ生セシメタリ  
 本件ニ関スル事態漸ク重大ナルヲ報ニ接スルヤ警備部  
 直ニ軍部及警視廳當局ト協議シテ時々遷カス流言  
 ニ對スル真相ノ調査ニ一般朝鮮人ノ保護其他ニ関シ機宜  
 〃措置ヲ執レリ即チ先ヅ朝鮮人ノ夜火襲撃等オハ多ク  
 〃傳ニシテ信スルニ足ラスニ三ノ不逞者アリタルカ爲一般朝鮮  
 朝鮮人ヲ敵視スルハ其ハノ不當ナルコト勿論ナルノミナラス假リニ  
 不逞ノ徒ノ潜入表裏勤スルコトアリトスルモ既ニ警察ハ充員  
 補充應援ノ方法成リ且充分ノ軍隊出動シ居ルヲ以テ  
 治安維持上何等ノ懸念ナキコトヲ揭示メカホーン等ニ依  
 リテ宣傳シ且地方長官ニ對シ此種ノ流言ノ傳播防止ニ

切ルト共ニ或ハ浮説ニ迷ヒ鮮人ニ對シ不當ノ暴行ヲ加フル  
 コトナキヲ保シ難キヲ以テ嚴重ニ之ヲ警告戒ヲ爲シ若シ一  
 場合ハ隣接府縣ヨリ警察官ノ援助ヲホメ或ハ軍實  
 ノ助カラ仰ク是ヲ機宜ノ方法ニ依リ之ヲ防遏スル様通牒  
 ラ蒸又ヒタリ

右ノ流言取締及朝鮮人保護ニ関スル通牒ノ外震災  
 地ノ混乱ニ際シ眞ニ不逞ノ計劃ヲ存スル鮮人其他ノ要  
 注意人ノ上京入込ニ不逞行動ヲ策劃シ又或ハ日鮮  
 人衝突ノ事實ヲ誇大ニ流浮宣傳シテ以テ日鮮人  
 間ノ關係ヲ乖離阻隔セシムル者ナキヲ保セサルヲ以テ之カ  
 注意警告戒ニ努メタリ

官憲於テハ右方針ヲ以テ進出未得ニ限リ流言ノ

27

取締ヲ為シタルニ一般ノ設解ヲ請散セシムルコト能ハス  
 解人ノ才也ニ危険ヲ感スルコト少カラザンモ在リシヲ以テ可  
 成之ヲ集團ヤレメ軍憲又ハ警察官署ニ之ヲ保護シ  
 且其外出移動ヲ避ケレメ市場ノ恙起ヲ勘カラシ  
 メ又四圍情勢ニ終ニ解人ノ内地渡来並ニ在  
 内解人ノ解地帰出ニ付テモ特段ノ注意ヲ払ヒシムルカ  
 秩序ノ回復ニ從ヒ漸次其ノ保護警戒ヲ解キ或ハ  
 其ノ中出ニ志シテ燒失地方道路取片付等ノ奉仕  
 的勞務ニ従事セシメ或ハ旧産主ニ引渡シテ就農ヤレメ  
 或ハ新地ニ職業ヲ仲ハ周旋シテ生業ヲ得セシメんノ  
 外朝鮮總督府及憲ト連絡ヲ採リ順次希望者  
 ハ帰解セシムルコト、ニ莫償輸送其他ノ便宜ヲ供

其セリ

幸ニテ鮮人ニ對スル流言及筆ノ努力ト民智有力者ノ  
諒解速クナリシカ爲メ僅々三四日ニテ漸次消滅スルニ至リ  
當初ヨリ愚念ニシテ朝鮮内地ノ治安モ亦朝鮮總督府  
ノ調査ナル計劃ト甚大ノ努力トニ依リ平靜ニ経過スル  
ヲ得タリ

流言ニ誤タレタル民衆就中 白登島國ノ誤解ニ依リ甚シ  
キハ之ニ起因シテ鮮人ヲ保護スル發言警察及若クは勸告  
セハ事件ハアリト雖國情皆及ノ行爲ヲ看過スルカラサルハ  
是ノ案理ニシテ此種ノ事件ニシテ下位衙ノ干渉ヲ屬  
中ニモ尤ノ如ク多數ニ上レルハ遺憾トスルトコトナリ

28

震災に伴う朝鮮人被害数調査書 (十月調)										
計	長野	福島	栃木	茨城	千葉	群馬	埼玉	神奈川	東京	被害者数
四二二			六		八九	一七	九四	一四五	七一	被害者数
七七			一三	三	二四	二	四	二	四七	被害者数
										調査



震災に伴う朝鮮人殺傷事件犯罪調

(十一月調)

計	福島	栃木	茨城	千葉	群馬	埼玉	神奈川	東京	行刑	
									罪名	殺人数
九八		二		二			五七	二八	殺人数	殺人数
三四		二		二			二	二一〇	殺人未遂	殺人未遂
三八		六		八			四	四	殺人未遂	殺人未遂
四四								一六	殺人未遂	殺人未遂
一六									殺人未遂	殺人未遂
一一		一							殺人未遂	殺人未遂
一一		一							殺人未遂	殺人未遂
一一									殺人未遂	殺人未遂
一一									殺人未遂	殺人未遂
一一									殺人未遂	殺人未遂
二三	二	五	二	五			二	七	殺人未遂	殺人未遂
七		一		一			一	六	殺人未遂	殺人未遂
一六		一		一				五	殺人未遂	殺人未遂
二		三							殺人未遂	殺人未遂
三一		三							殺人未遂	殺人未遂
一四		四							殺人未遂	殺人未遂
一四				九	一	四			殺人未遂	殺人未遂
一四				九	一	四			殺人未遂	殺人未遂
二〇				六	三	一〇			殺人未遂	殺人未遂
一				一					殺人未遂	殺人未遂
一一				一					殺人未遂	殺人未遂

支那人、其言詰、進々ナル多キト習俗ノ異ナルモノ  
 アルカ爲不幸ニシテ、輕解人ト誤ラレ殺傷ノ事件ヲ  
 見タルモノアリ、事實判明シテ、現ニ怯街ノ裁斷ニ付  
 ラレタルモノ友記ノ如シ、若隣ノ支那人ニ罵詈ヲ及ホシタル  
 當時、事篤ヨリ見テ、避ケ難カリレコトニ爲スルト雖、  
 亦深ク遺憾トスルトコロナリ、警察官憲ハ此ノ種ノ  
 事篤ニ發生スルノ危険アルヲ、供知スルモノナリ  
 支那人ノ保護ニあり、或ハ之ヲ特設ノ收容所ニ集メ  
 或ハ特別ノ注意ヲ加テ、保護シ、其人帰国ヲ希望  
 スル者、約五〇〇人ヲ、東京ニ輸送スル事、約束セラル  
 ノ年、改メ講ニナリ

(以) 要視察人其他容疑人物之取締

特別要視察人労働要視察人其他容疑人物ニテ  
 震災ニ伴フテ発生セル異常ノ社会水徳ヲ利用シ  
 宣傳運動等ヲ為スル虞候ナキヲ保セサルヲ以テ特ニ  
 嚴密ニ注意スルノ必要アリタルヲ以テ先ツ地方長  
 官ニ通報シテ此種ノ危険人物ノ豫察地ニ於テハ  
 之ヲ阻止スルノ方法ヲ講スルト共ニ四雅<sup>四雅</sup>地ニ於テハ此種  
 ノ人物ニ對シテハ必要ニ知レテ檢束ヲ加ヘ又ハ嚴密  
 ナク監視ヲ附スル等其活動ノ餘地ナカラシメタリ  
 又水平社等ニ於テ万一ノ場合ハ官城警衛ノ爲  
 大挙シテ上京セントスル計画ヲ立テ各地水平社  
 機關ヲ察シタル事實アリテ其ノ事實トナリテ現ハル

二此々タル行邊ヨリ重大ナル事態ヲ惹起セサルコト  
ナキヤラ優レ

兩陛下攝政宮殿下ノ御安泰並ニ宮城ノ無事及  
震災地ハ平靜ニシテ何等ノ懸念スヘキコトナキ者ヲ  
諭示シ其計画並ニ上京ヲ極力阻止セシメタリ  
社會主義者其他ノ左傾思想抱持者ニシテ東京  
及樺州等震災地方ニ在リタル者ハ戒嚴令施行  
中ナルト輕解人問題ニ昇降シ若地ニ於テ彼等ニ  
不利益ナル流言行ハレタルカ為或ハ自ラ警察官署  
ニ出頭シテ保護ヲ依頼シ或ハ連署者ニテ内務大臣ニ  
楊護ヲ求メ或ハ遠ヲ地方ニ転住スル等一級ニ其等  
者ニテ何等積極的ノ行動ニ出ツル者ナカリキ獨々

所謂甘糟事件ナルモノ、降生して世上、視聽ヲ奪  
 シメタルハ警備ノ任ニ在ル者ノ均シク遺憾トスルトニ  
 可ナリ

## (一) 外事關係

密接外人殊ニ僞造人等ニ在リテハ或ハ僞以ニ混  
 雜ニ爲リ共産主義ノ宣傳其他不逞ノ行動ニ  
 出テザルコト保シ難キヲ以テ此等ノ視察取締ニ  
 關シテハ九月三日廳府廳長及ニ對シテ應答ヲ以テ  
 通牒シタルヲ初トシ特ニ京浜地方ニ於テ通  
 信ノ取締ニ上級者ノ制限等ヲ行フ、外僑  
 採地ニ乘ル目的ヲ以テ在外公報ニ査證ヲ申出  
 タル者ニ對シテモ災害地ノ混雜及宿舍食料等  
 ノ充分ナラザルモノアリ、理由ヲ以テ特別ノ場合ノ  
 外査證拒絶ノ方法ヲ講スル等外人ノ京浜地  
 方ニ乘ルヲ可及的ニ阻止シ、幸ニシテ事端ヲ見ハコ

トナカリヤ

九月八日在 神功改設 迎送 領事 代理ヨリ 今次 東  
 洋ニ於ケル 罹災 民衆 救護 為 救護 班 医療 救  
 料 食料 品 等 ヲ 現 船 レーニ 歸 (旧名 シンビハスク)  
 ニ 積 載 食 糧 バケ ス 指 揮 ノ 下 ニ 神 功 解 纜 神 戶  
 ニ 向 ヘ リ ト 報 ア リ 同 般 ハ 途 中 航 路 ヲ 変 更 セ テ  
 津 輕 海 峽 ヲ 繞 由 シ 十 二 日 直 接 横 濱 港 ニ 入 港 シ  
 ル ヲ 以 テ 神 倉 リ 隊 警 務 部 及 陸 海 軍 當 局 ニ テ  
 同 般 ニ 臨 檢 シ タル ニ 指 揮 者 バケ ス ハ 救 護 品 倉 庫  
 至 勞 働 者 ノ 義 捐 品 ナル ヲ 以 テ 我 等 ノ 手 ニ テ 罹 災  
 日 中 勞 働 者 ヲ 救 護 スル ヲ ナリ ト 豪 語 シ 又 一 面  
 現 在 之 際 ニ 共 産 主 義 ヲ 宣 傳 スル 的 ニ テ 多 数

宣傳ビラヲ積載セリトノ情報アリニテ以テ政府ハ  
 治安ヲ害スルコトヲ船員及乗員ノ陸並ニ積  
 載品ノ陸揚ヲ禁止シ且厳司令及ノ命令ヲ以テ  
 帝王領海外ニ退去ヲ命スルト共ニ必要ナル炭水  
 ヲ供給セリ 右退去後ニ於テモ何時他ノ港灣ニ  
 寄港スルヤ又難國ヲ以テ關係存弊ニ對シ取締ニ  
 關シ通報シタルカ同船ハ命令ノ通り横濱港ヲ  
 出帆シタル後何レノ港灣ニモ寄港スル一踏躰均  
 ニ帰港セリ



(十一) 震災、及ホセル経済界並ニ人心  
及影ト警告

湖東ニ於ケル震災ノ惨状一度傳ハルヤ我國民ハ  
勿論全世界人類ニ大衝撃ヲ與ヘ一般民心ニ  
及ホセル影響至大ナルモアリ其他震災ニ  
基因スル朝鮮人問題ニ關スル一般社會ノ感  
想、社會主義者、労働運動者、北平社會、  
支那人其他外人、朝鮮人等、感怒態  
度、真相ヲ挿捉スルコトハ安寧秩序、維持  
並ニ今後ニ於ケル此等ノ取締ニ對スル重要ナル  
各款事項ナルヲ以テ各地方長官ニ好シク調  
査方ヲ通達スルト共ニ朝鮮總督府、關東廳

へ元照倉スル所アリ、海外取遣、事務存ニ對シテ  
 毛文力精那ノ蒐集ヲ促シ以テ將來ノ視察取  
 録ニ資スルコトナセリ

其他震災ノ救済純濟界ニ其ハタニ創痍頗ル甚  
 大ニシテ社會民心就中為ニ業者ノ影響スル所至大  
 ナルモノアリ 震災後尙モテラトリウムノ災花ノ  
 為ノ賦界僅ニ新證ヲ保テリト雖支那猶豫  
 令廢止後ニ於テハ或ハ銀行ノ取付、火災保險  
 會及拂連勤勞ノ昇己警務上特ニ注意ヲ要  
 スルモノアリトテ以テ之カ注意警務カニ昇己九月  
 廿九日附閣地方長及其他ニ訓達シテ其警務カ  
 ニ對シテ遠望ノキヲ期セリ

(十二) 震災卜刑事警察

震災後種々の流言行ハレ人心ヲ誑惑スルコト甚  
 多サルト共ニ震災ニ因ル混乱ニ乘リテ諸種ノ犯  
 罪ノ煽動スル者ナキヲ保レ難キヲ以テ九月七日  
 勅令第四の三號ヲ以テ治安維持ノ為ニスル  
 罰則ノ件ヲ發布セラレ出版通信貼紙演説等  
 其方法ノ如何ヨ尚ハス暴行騷擾其他生命身  
 體又ハ財産ニ危害ヲ及ブヤ犯罪ヲ煽動シ又ハ  
 治安秩序ヲ紊乱スル目的ヲ以テ治安ヲ害ス  
 ル事項ヲ流布シ又ハ人心ヲ惑乱シ目的ヲ以テ  
 流言謠説ヲ爲シタル者ハ之ヲ嚴重処断シテ

之ヲ取締ルヲ為スト共ニ一面又物價ノ一新之ニ乘  
 スル生活必需品ノ買占・賣惜者トハ暴利ヲ  
 貪ル者ヲ取締ル為勅令第四〇五號生活必  
 需品ノ買占スル暴利取締ノ件ヲ公布シテ生活  
 必需品ノ暴騰ヲ抑壓スルコトニ努メタルカ  
 由件ノ如キハ極メテ時宜ニ違ヒタルト云フヘク  
 十月二十日迄ニ於ケル檢査件數前者ハ(一)〇件  
 後者ハ(一)五件ニ違ヒリ  
 其他流言ニ惑サレテ輕率ニ出タル騷擾殺人傷  
 害混乱ニ急スル強盜竊盜等ニ及ビ職務執行  
 妨害罪等ノ震業ニ罪聯スル犯四種續発ニ及  
 力ニ檢査ニ罪ニテハ前述司法委員会ニ於テ

其方針程度時期方法等ヲ折合セ一面安心ニ動  
 搖ヲ来スル如キコトナキヲ考慮シテ、關係府廳  
 ニ亘リ檢査ヲ實行スルコト、ナリタルカ本件ハ  
 其最良御書スル以範田極メテ云ハルカ故ニ犯人  
 檢査ニ依リ一層重大ナル事端ヲ勃發スル  
 コトナキヲ難保ヲ以テ千代田ハ島城ヨリ  
 七十名崎玉縣ハ山手縣ヨリ五十名、警備官  
 ノ左援ヲ更ケ一面軍隊ノ後援ノ下ニ檢査ヲ  
 實施シタルニ各起共極メテ辯護ノ理ニ之ヲ終ラ  
 スルヲ得目下事件大部分審理續行中ニ  
 屬ス

鹿児島地方ニ於ケル一般ノ情状ハ漸次改善セラレ

6

民心亦平靜ナリト雖、數十万ノ罹災者、其ノ白  
 ノ窮セストスルモ、住家ノ復旧ハ容易ナラザルノミ  
 ナラス、時初冬ニ入り、寒冷ヲ嗜見ユンコト切ナルニ拘  
 ラス、藩田其他防寒具ハ其供給十分ナリト  
 セス、加フルニ工場及為業ノ閉鎖ニ伴フ失業者  
 ノ數亦勘カラス、彼此相伴フテ、今後ニ於ケン犯罪  
 ノ増加ヲ豫想セラル、トコロアルモ、是最近ニ至ル迄ノ  
 刑事統計ハ別紙ノ如ク、塔玉野ニ於テ強盜ノ著  
 シ増加セハエ、アルノ外、甚シク増加ヲ見サルハ、偉トス  
 今後ノ趨執ニ付テハ、最モ注意ヲ怠ルヘカラス  
 ル莫アリ

罪名	発生件数	前年同期比増減	検挙件数	未検挙件数
公務執行妨害	一〇	三	七	
逃走	三	一	六	
贖樓	一	一	一	
往來妨害	一		一	
住居ヲ侵入	一一	一三	二九	
秘密ヲ侵入	一	一	一	
飲料水	一		一	
通貨偽造	三			
文書偽造	四		二	二

震災後ニ於テ凡犯罪表

敬言

視

廳

終  
記  
ナ

遺棄	墮胎	過失傷害	傷害	殺人	礼拝所墳墓	賭博	猥褻姦淫	誣告	偽証	印章偽造	有價証券偽造
一三		三六	一五〇	一一三	一	一〇三	九	一			
一一				九二							
	五	二四	一四〇		二	一一一	二〇	二	一	五	二
一	一	六九	一一〇	一一三	二	一九	一三		一	一	二
八						一	四				



贈物	横領	恐喝	詐欺	強盗	竊盗	信用業務	精路	名卷	恩取誘拐	脅迫	逮捕禁
一三	二三〇	二八	一三八	七	三九四一	二	一	一	一	八	一
二		二					一			三	
..	三〇五		四九三	三二	二一八六			九	一		✓
警 視	四五二	一四	三六一	一五	三〇二八	五	一	二	三	一	三
鏡	五六	三	三五		二七八一						

合計	諸規則違反	失火	枚火	毀棄陽匿
五、四、五、八	五、七、三	一、五	三、〇	九
五、五、九	四、二、一		一、九	
三、五、三、四		一、四		六
五、七、三、八	一、〇、六、七	二、〇	三、〇	一、八
二、八、九、六			八	

種別	殺	強盗	放火	強姦	竊盜	墮胎	詐欺	横領	贖物
發生件數	三六	四	七	三	三七	二	二四〇	一一一	一七
前年同期ト比較	三〇					一			
増減									
檢査件數	三五	二	七	二	三四		一六四	五二四	一一
未檢査件數	一	二		一	一〇五		一	一	三九

大正十二年自九月一日至十月卅日犯罪被害及檢査件數表

千葉縣

計	刑 法 外 諸 法 令 犯	其 他 刑 法 犯	失 火	恐 喝	傷 害	賭 博
一 四 九 七	五 六 七	七 二	二 五	四	五 〇	四 二
五 三 一	四 九 九		一			
七 九 四		四		一	一 三	一 五
一 六 五 六	五 六 七	七 六	二 三	四	五 〇	四 二
一 一 三			二			

種別	震災後於之犯罪発生及検挙件数		前年同期ト比較		検挙件数	
	発生件数	増減	増減	検挙件数	未検挙件数	
種別						
逃走	1	1		1	1	
騒擾	1	1		1	1	
放火	5	3	1	5	5	
失火	30	1	1	30	30	
往來妨害	1	1	1	1	1	
銃撃・刃傷・犯罪			2	1		
通貨偽造						
有價証券偽造			1			
猥褻・淫	6	1		6	6	
賭博・畜産	17	10	1	17	17	
漬職			1			
殺人	10	5		10	10	
傷害	47		4	47	47	
過失傷害	2		3	2	2	
隋胎	2		2	2	2	

朽木

震災後於之犯罪発生及検挙件数  
朽木

0209

備考 本表八月一日ヨリ十月三十一日迄ヲ計上ス	遺棄	三	二									
	逮捕及監禁											
	略取誘拐	四										
	竊盗	四二七	七〇				三三四					
	強盗	四	一				二					
	詐欺	一一〇		八			一一五					
恐喝	一		二四			二						
横領	四四		八〇			四九						
毀棄隠匿	一		六			一						
其他	七一		三〇			七一						
合計	七八六					六九九						
												一〇一

罪名別	件数	發生件数	前年同期ト比較		檢挙件数	未檢挙件数
			増	減		
公務執行妨害				一		
騷擾罪	二	二	二		二	
放火	二	二		六	一	一
失火	一五	一五	三		一五	
住居ノ侵ス罪	二	二		三	二	
飯料水濁ス罪				一		
文章偽造	一八	一八		二	一八	
有價証券偽造				八		
誣告	一	一			一	
猥褻女娼淫	五	五			五	

大正十一年自九月一日起至十月三十一日犯罪發生件数檢挙及未檢挙件数

群馬縣

業務上追害傷害	過失傷害致死	過失傷害	單純暴行	傷害致死	傷害	自殺ニ対スル罪	殺人未遂	殺人	賄賂	墳墓ニ対スル罪	常習賭博	普通賭博
五	四	一	二		四八			三	一	一	一	二九
二	二	一	二		一八			二〇	一	一		四
						一	二				四	
五	四	一	二		四七			二	一	一	一	二九
								二				

警 馬



其他 横領	業務上 横領	横領	恐喝	背任	詐欺 欺	強盗	竊盗	名誉毀損 罪	略取誘拐	脅迫	逮捕令禁	墮胎
一二	一八	五六	二		七一	三	三七	二				
二	九四	四〇		一〇	二五	一	三六	一	二	二	一	二
一二	一八	六七	二		八六	三	二六八	二				
		六					七八					

合 計	其他法令違反	暴利取締令	刑法犯計	毀棄	贓物罪
105	151	10	644	3	2
	31	10			
180			231	1	2
780	151	10	619	2	2
91			91	1	

備考

右表中大正五年年度同期間比に犯罪件数一八〇件ヲ減少  
 シタカ其ノ内容ヲ見ルニ九月中ニ於テ犯罪激減シ十月中ニ  
 於テ竊盜罪ハ著シク増加ノ傾向アリ而シテ九月中ノ激減ハ半  
 月以上各地ニ於ケル自發團治部ト一般人心ノ緊敏トニ因ルニ  
 認メラルヘク十月ニ至リ増加セルハ震災後經濟上ノ激變ト  
 一般人心ノ激昂ヲ極メタルニ因ルニト思料セラル

3

種別	発生件数	前年同期上ノ比較	増減	検挙件数	未検挙件数
公防銃器妨害				一	
盗				四	
放火	三		二	二	二
失火	七		三	七	
住居侵入	二		三	九	
往来妨害			一		
文書偽造	二		五	四	
有價証券偽造			六		
印章偽造	一			一	

犯罪被害及検挙件数表 (大正五年九月)

山梨縣

暴行	傷害致死	傷害	殺人未遂	嬰児殺	殺人	強姦	常習賭博	普通賭博	女性	強姦致傷	偽造
二	二	二四			二		六	七			
					一		四				
一	一	九	二	二				一三		一	一
四	二	三四			一	一	一〇	二	二		
					一						

山梨

詐 欺	準 強 盜	掏 摸	竊 盜	業 防 妨 害	名 譽 毀 損	誘 拐	遺 棄	墮 胎	過失 傷 害 <small>普 東 初 上</small>	過失 致 死	過失 傷 害
一 三			七 二		一				二		一
九 七	一	三	一 六 一	一		四	一	二	三		一
五 三			一 二 五		一			一	二		一
二			二 五								

ト  
ク

計	力加 迫	損 害	穀 棄	賤 物 牙 保	賤 物 坂 買	潭 流 物 横 領	拾 得 横 領	掌 筋 横 領	横 領	恐 喝	背 任
一 六 一	一	二	一	二		二	三		五	二	
一 三	一	二		一		二					
三 七 三			二		三			一 〇	二 八	二	三
三 二 七	一	四	一	二	二	二	一 四	二	一 八	三	一
三 〇							一				

山  
香

備考

一 齊生件数ハ十月三十一日迄ニ抽出ニ其他ノ方法ニ

ヨリ齊見<sup>又ニ檢査</sup>ニタシテノ計トス

二 前年同期ト比較ニ於テ前年同期ヨリ齊生件数ハ

本年十月三十一日迄ニ於テ齊見ニ得タル齊生件数

(前年同期ヨリ)ヲ計上ニタリ

三 檢査件数ノ齊生件数ヨリカキハ檢査件数ハ

本年九月一日ヨリ十月三十一日迄ノ旨ニ於ケン全檢査

件数ニテ九月一日以前ノ犯罪及他府県犯罪等

ノ含まレズルニシ

四 未檢査件数ハ齊生件数中 十月三十一日迄ニ檢

査スルニ列スルモノナリ

山梨

種別	殺人	過失殺人	傷害	放火	強盗	竊盗	詐欺横領	恐喝脅迫	賭博
大正十一年 自九月至十月 間犯罪件数	二	八	四五	二	八	五七四	六八七	一六	六八
前年同期ト比較				一	二				
増減			一						
検挙件数	二	八	四五	二	四	三九一	七三八	一六	六八
未検挙件数						二二三			

大正十一年自九月至十月間犯罪件数及検挙件数表  
 靜岡縣

検挙  
未検



計	特別法犯	其他刑法犯
一七四八	二二四	一一四
三		
七四三	一三六	二一八
一六一七	二二四	一一九
三二七		

備考

強盗未検挙件数中四件ノ内一件ハ愛知県警察  
 署ヨリ警署ニ於テ検挙セリヨリハニ付キ實際未  
 検挙ハ三件ナリ

震災後ニ於ケル犯罪件数表(昭和18) 神奈川県

種別	被害件数	前年同期トノ比較	
		増	減
殺人	八	一八	
殺人未遂	一	一	
過失致死	一	一	
放火	二	一	一
放火豫備	一	一	一
強盗	九	九	
窃盗	一、四六七	一、一七三	二九四
窃盗未遂	一〇	一〇	
器物故買	五	五	
器物寄託	二	二	

神奈川県

強姦未遂	失火	逃走	遺失 遺失 傷害	常習 賭博	賭博	傷害	漂流物横領	拾得物横領	贓物收受	横領	詐欺
一	二	二	一六	一	一〇	一三	四五	一〇九	一八	一五	一四
一	二	二	一六	一	一〇	一三	四五	一〇九	一八	一五	一四

蒸騰上過失致死	脅 喝	脅 迫	脅迫未遂	幼者遺棄	家宅侵入	阿比煙	誣 告	暴 行	過失傷害	傷害致死	贓物運搬
大	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	二
大	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	二

神志あり

合計	業務上横領	過失傷害
一七七四	一	一
一四八九	一	一
二九五		

備考

前年と比較増減は過般、震災、際書類全部  
 焼失シタル為、調査不能